

**学校などの団体引率者の方へ**

**タッチ・タンク観察のお願い**

タッチ・タンクは名古屋港水族館の最後にある水槽です。  
この水槽では主に伊勢湾周辺の海岸から採集してきた生物を展示しています。

## I. 生命を感じ、感性を養う体験を

生物を水中で手にとって、生物の生きている様子を観察し、その生命を体で感じてほしいと考えています。この体験を通じて、身近な生物の存在に気づき、**自然や生命の神秘および不思議を感じとる感性**を養ってほしいと思います。

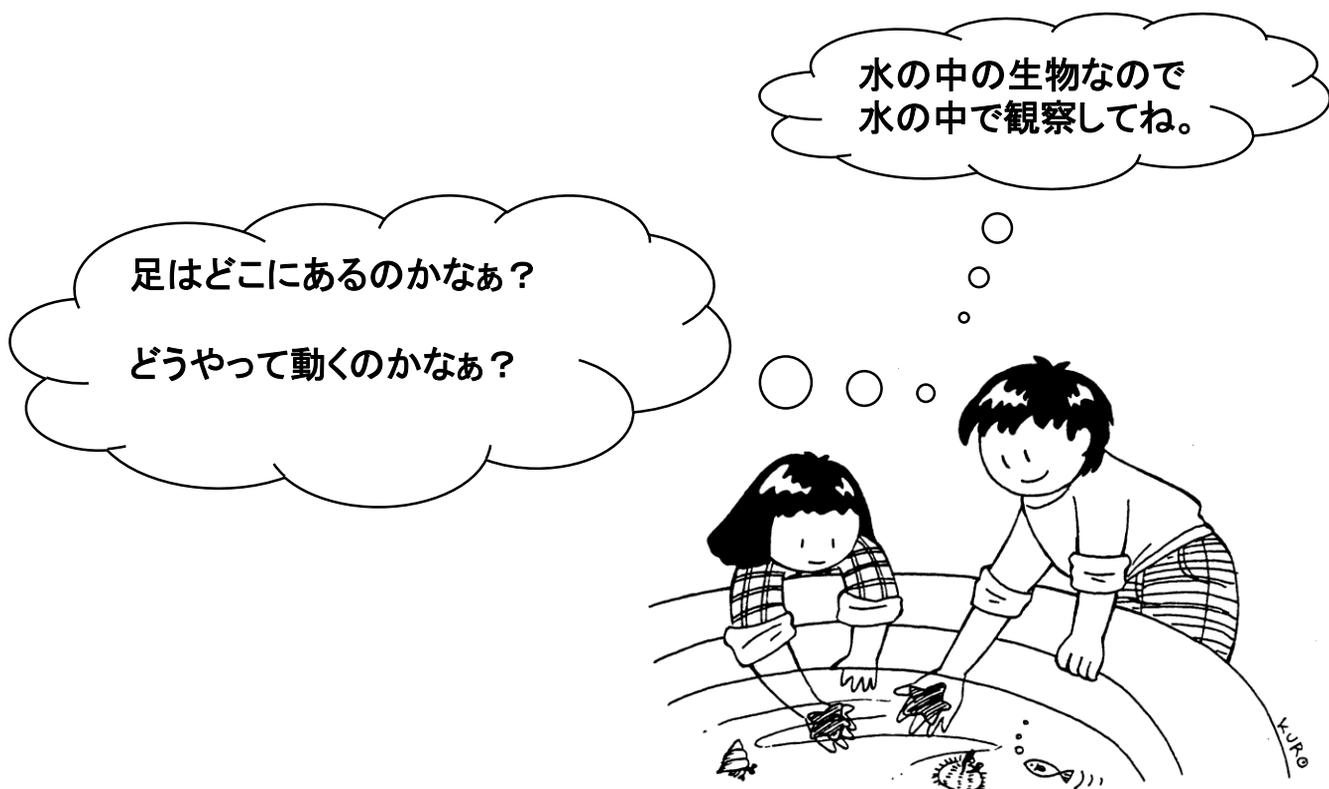
## II. 観察のコツ

動きの緩慢な海の生物を観察するにはコツがあります。

① まず、水の中に手を入れます。**水の中で観察したい生物をそっと手のひらにのせて下さい。**

② **生物が警戒を解くまでじっと待っていてください。**動き出したり、足を伸ばしたりする様子など生物の生きている姿が観察できます。

**生き物を水の中で手のひらにのせて観察してみよう！！**



タッチ・タンクにいる生物はすべて海の中でくらしています。この観察方法は、生物の**自然な姿を観察**するため、および生物へ与えてしまう**ダメージを小さくするために必要なこと**なのです。

また、岩や海藻の陰にも魚やエビが隠れています。隠れている生物を見つけることで生物にとって**生息環境が大切**であることも理解できます。観察の後、**生物のために、動かした海藻などを元に戻してあげてください。石を動かすと、生物が下敷きになる恐れがあるので、動かさないでくださいね。**

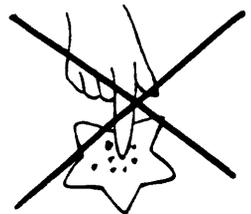
生き物がケガをしてしまうのでこんな触り方はやめてネ



つままない



にぎらない、つかまない



つつかない、こすらない、  
なでない

タッチ・タンクでの体験は触ることだけではありません。嫌がる人に強要するようなことはご遠慮下さい。触るときはじっくり生物を観察して下さい。大きな危害を与える生物はいませんが、**生物に触れる責任と勇気をもって観察して下さい。**

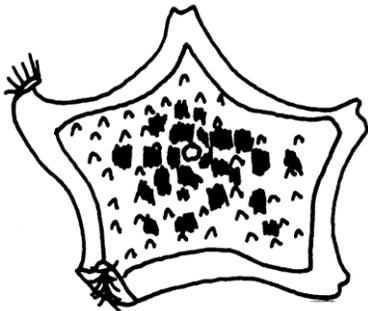
### Ⅲ. 観察はグループごとにゆとりを持って

タッチ・タンクの一度に観察できる人数は**約20名まで**です。グループごとの観察をお勧めします。**引率の方にも子供たちと一緒に観察し、子供たちと共に体験していただくことを期待しております。**また、生物の生きている様子を観察し、その**生命を感じるために、時間と心にゆとりのある計画を立ててご来館下さい。**

## IV. タッチ・タンクでは・・・

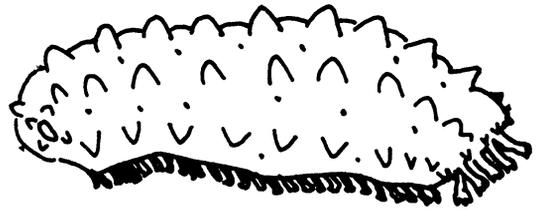
ボランティアや職員が観察のお手伝いをしています。観察方法や生物などについてご質問がありましたら声をかけて下さい。**引率の方にも子供たちに解説と観察指導をしてあげてください。観察が終わったら水道水で手洗いしてください。**

## V. 主な生物の紹介



### ヒトデのなかま

水の中で見ていると足(管足:先端が吸盤になっています)が伸びてくるのを見ることができます。さらに観察を続けていると手のひらに張りつくこともあります。



### ナマコのなかま

水の中で見ていると体の下側の足(管足:先端が吸盤になっています)を見ることができます。口の周りにある触手で餌となる微少な海藻や有機物を砂と一緒に口に運びます。



### ヤドカリのなかま

水の中で見ていると手のひらの上でも歩く様子が観察できます。



### ウニのなかま

水の中で見ていると棘が動くことや棘の間から足(管足:先端が吸盤になっています)が伸びてくるのを見ることができます。その管足を使って移動したり、体の周りに小石や海藻などを付けてカモフラージュをします。